

1 指定管理者名	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ
2 指定期間	平成 28 年 4 月 1 日 ~ 令和 3 年 3 月 31 日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4 採点表											
評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満～95%:8点、 95%未満～85%:6点、 85%未満:4～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出			開館時間中(10:00～18:00)は自由来館としている。		
		②利用人数	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値		85%未満 2～0点	・小学校の児童数が少なく、小学生利用が減少。しかし、登録カードの提出率は小学児童数の8割と高い。 ・園入所や離れた園への通園が増え、乳幼児親子の自由来館やクラブの利用が減少。 ・董南幼稚園閉園に伴い、園帰りの来館が減少し、乳幼児親子の来館、事業に参加する人数も減少した。 【元年度】来館者数 14,569人 乳幼児 2,893人 小学生 7,901人 中高生 451人 大人 3,324人 【30年度】来館者数 16,144人 乳幼児 3,404人 小学生 8,951人 中高生 386人 大人 3,403人 【29年度】来館者数 18,631人 乳幼児 4,202人 小学生 10,200人 中高生 399人 大人 3,830人 【28年度】来館者数 20,820人 乳幼児 5,760人 小学生 10,082人 中高生 305人 大人 4,673人 ※来館者数と事業参加者は異なる数え方をしています。	4点				
			平均値比(上記(2)適用) (新型コロナの影響からH31.4からR2.2までの利用人数累計にH31.3の利用人数を加算) 15,561(利用人数)÷18,532≒84%								
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点、 仕様書に忠実:11～9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点、 それ以下:2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計62回開催、延べ749名参加) ・児童を対象とした事業(計65回開催、延べ1,338名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計1回開催、延べ121名参加) ・中高生対象事業(計3回開催、延べ17名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計25回開催、延べ95名参加) ※別紙:事業評価表 参照		仕様書以上 14点	・仕様書に基づき適正に事業を実施している。 ・近隣の幼稚園が閉園に向け園児が減少しており影響している。 ・児童対象事業、地域交流事業は新型コロナの影響により中止の影響で減少。 ・中高生及びネットワーク事業は参加者を増やせている。		14点
		(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)		15	内容・事業数等が期待以上:15～12点 例年通り:11～9点、 例年よりやや劣る:8～7点、 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計57回開催、延べ527名参加) ・児童を対象とした事業(計65回開催、延べ693名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計49回開催、延べ1,171名参加) ・中高生対象事業(計9回開催、延べ31名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計0回開催、延べ0名参加) ※別紙:事業評価表 参照		期待以上 15点	・地域と連携した事業を多く実施。 ・わくわくひろばや他館との共催、初開催事業の実施、入園準備企画等工夫に努めている。 ・各事業について工夫により参加者の維持・増加に繋げている。 ・ネットワーク事業が新型コロナの影響により実施できず今年度評価していない。		15点

評価項目		細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等	得点
2	施設管理状況 (25点)	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。 ※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:週1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:毎朝の定期清掃(雨天を除く)、日常清掃を実施。駐車場を含め、児童館周辺の側道まで、こま目に様子を見て清掃している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	10点
					電気工作物、運動遊具の保守点検は委託により実施。パソコンは随時点検。砂場の砂補充。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
					非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
					・網戸貼り替え ・遊戯室マット修復 ・遊戯室コンセント割れ替え(838円) ・駐車場砂利200キロ補充(2,130円) 以上については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕を行った。	適正(普通) 2点	・修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。	
					毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。また、学校や民生児童委員、交通安全協会等と連携し、最新情報の共有をしている。近隣の空き地や駐車場・横断歩道等、使い方について日頃より伝えている。館内にハザードマップを掲示している。	適正(普通) 2点	・日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。	
		(2)その他管理業務の実施状況(15点)	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、適正(普通):2点、一部不備あり:1点、不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	・文書目録に基づき適正に管理されている。	10点
					「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし暑さ対策をする、夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用し、関係機関への連絡はメールを利用している。小学生クラブにおいて、定期的に公園の掃除を行っている。工作ではトイレトペーパーの芯や古新聞等の廃材を積極的に使用している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
					廊下の障害物を撤去し、スペースを確保している。卓球台の転倒防止の為、ベルトを付けている。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
					備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
					特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管の上管理している。	適正(普通) 2点	・適正に実施されている。	
			0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	・ワーカーズコープとして保険に加入している。	0点
3	当該施設の経営状況(5点)	①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満~100%:4点、100%未満:3点	収入10,970,060円 ÷ 支出 10,931,029円 ÷ 100%	105% 未満 ~ 100% 4点	・指定管理料の範囲内で適正に事業が実施されている。	4点

評価項目		細目		配点	採点基準		実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
4		(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点、 適正(普通):7～5点、 不備あり:4～1点	・窓口に意見箱を設置するとともに、前後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを実施し、乳幼児クラブでは英語をJMスタッフでは意見を反映したまつりの開催を行った。さらに、男の子も活躍できる事業がほしいという意見が出たので、新しく卓球クラブや男子クッキングを始めた。また、中高生会議など、感想・意見を聞く場を設け、中高生になっても過ごしやすい児童センターを目指した。 ・学校、幼稚園の休暇や行事を考慮した事業日設定をしている。(小学校振替休日は、児童が利用できるように開館する等) ・アンケートの結果、運営委員会の話し合いをもとに、新クラブや企画を実施した。	期待以上 9点	・定期的にアンケートを実施し利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・独自に利用者のニーズを聞く機会を設けている。	9点		
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3～1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	・ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点		
より良い施設運営のための取組 (30点)		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント (15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の欠勤に対応。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。(5/10東京ニッショーホール・2/8～9明治学院大学) ・4/24「みんなのおうちコーディネータ養成研修(東京池袋本部)」・1/15～16「全国事業推進会議(東京日本教育会館)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計9回開催。 ・6/9「東海基礎研修」・7/14「東海子育てプロジェクト」・1/26「東海よい仕事集会」など、愛知岐阜静岡エリアブロックにおいても研究交流会を開催。 ・法人内児童館職員全員参加研修を毎月第4月曜日を基本に開催。 (4/15組織理解基本研修・5/27普通救命救急講習(笠原消防署)をはじめ、児童館ガイドライン研修・リスクマネジメントとヒヤリハット学習会・集団および個別援助研修・ぎふ木育講習・スキルトイ実技・製作実践指導など専門性を高める研修。その他事務研修としてホームページ更新法および電算システム実務研修) ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:児童健全育成推進財団】5/24健全育成専門セミナー 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】5/31総会研修会・9/13館長研修会・10/2東濃ブロック児童厚生員研修会・10/30東濃地区児童館職員等研修会 【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】8/29ぎふ木育リスクマネジメント安全管理研修・2/25ぎふ木育ひろばフォローアップ研修	期待以上 13点	・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。	13点		
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況		0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施している。	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等		0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施している。	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下					83点	
								全体的な評価 ・概ね良好な管理がされている。 ・ニーズを事業に反映し新規事業等に繋げている点を評価。		良好	